



学ぼう!SDGs

～みんなで考える世界の目標～

第19回 目標17「パートナーシップで目標を達成しよう」

17 パートナーシップで目標を達成しよう



～持続可能な開発に向けて実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する～

SDGsシリーズ最後の目標。これまで1～16の目標を一つずつ学んできましたが、それぞれの国が努力することはもちろん、先進国が発展途上国を支援したり、互いに助け合っていかなければ実現が難しい課題ばかりです。国同士だけでなく、自治体、団体、企業、個人など、さまざまな場面でより多くの人々が団結し、共に前へと進むパートナーシップを大切にするという内容が17番目、最後の目標です。

☆ここで少しSDGsについておさらい!「SDGs (エスディージーズ) = Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)」

17の目標、169のターゲット、244の指標からなる人類が初めて決めた共通の目標。地球上の「誰一人取り残さない」をキーワードに、2030年までの達成を目指しています。

・日本の世界ランキング (国連に加盟している193の国と地域)

2017年…11位 / 2018・2019年…15位 / 2020年…17位

・日本の最大の課題は…目標5・12・13・17

(女性国会議員の少なさ、男女の賃金格差、再生可能エネルギーの割合の低さ、所得格差、電気電子機器廃棄物、窒素や二酸化炭素排出量、炭素比率、水産資源の乱用、絶滅危惧種の保護、金融の透明性を明らかにした秘密指数など)

JAようてい職員が考えるSDGs関連事業

JAようていの「パートナーシップで目標を達成しよう」

- ・各町村自治体とのイベント協力や行事参加による連携
- ・肥料・農薬メーカーや普及センターと連携した各種栽培試験の実施
- ・農政対策協議会の実施
- ・各行政 (農林水産省・普及センター・役場等) との連携

今後取り組むべき「パートナーシップで目標を達成しよう」

- ・漁協・森林組合・信用組合・生協との連携強化
- ・ファーマーズマーケット
- ・市町村等との連携による次世代につなぐ農業の実現に必要な設備等の導入
- ・准組合員や地域住民と連携した活動

参考: 「1時間でよくわかるSDGsと協同組合」

【2021年最新】SDGs国別ランキングや日本の達成状況は? (<https://naruhodosdgs.jp/sdgsreport2021/>)